

■目次

■平成30年第4回定例会【12月】

補正予算の主な事業	2
提出議案・補正予算の主な質疑 ..	3
全員協議会(行政組織の改編)	4
一般質問	5~12

■議会トピックス

13

■委員会活動報告(所管事務調査)

総務文教常任委員会	14
産業厚生常任委員会	15

■議会だよりギャラリー

16



文化財を火災から守れ

文化財防火デーにちなみ、1月27日(日)戸赤地区の国登録文化財建造物「小椋家住宅」において、町文化財防火訓練が行われました。

町消防団・婦人消防隊や消防署、文化財関係機関など、貴重な文化財を守ろうと真剣に取り組んでいました。

全議案可決

12月7日から14日にかけて12月定例議会が開かれました。専決処分、条例の一部改正、平成30年度補正予算など町提出議案（報告1件・議案10件）はすべて可決しました。

12

月

定

例

会

2019夏までに 全小中学校の教室にエアコン設置

設置費用
総額1億1609万円を補正

平成30年度一般会計(12月)補正予算

1億778万3千円を追加補正

総額 50億6538万9千円に

補正の主な事業

▼歳入

農業水産費（ラウベ使用料）	△3,700千円	交通対策費 （地方路線バス運行委託料）	3,030千円
農林水産業費県補助金 （県単林道事業）	△3,425千円	農林水産業費（生活飲料水確保 対策事業補助金）	1,500千円
教育費国庫補助金 （冷房設備対応臨時特例交付金）	35,136千円	小学校エアコン取付事業費 （設計・監理委託料、工事費）	80,244千円
教育施設整備基金繰入金 （冷房設備設計委託料）	7,200千円	中学校エアコン取付事業費 （設計・監理委託料、工事費）	35,853千円
町債学校教育施設等整備事業債 （冷房設備対応臨時特例交付金事業）	70,200千円	備品購入費（児童図書） 各小中学校に2万5千円配当	100千円

▼歳出

提出された議案

【町提出議案】

- ▼専決処分（報告）
- ・福島県市町村総合事務組合規約の変更
- ▼南会津地方広域市町村圏組合規約の変更
- ▼職員の給与に関する条例の一部改正
- ▼議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ▼町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- ▼下郷町課設置条例の一部改正 ※詳しくはP4
- ▼30年度下郷町一般会計補正予算
- ▼30年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算
- ▼30年度下郷町介護保険特別会計補正予算
- ▼30年度下郷町簡易水道事業特別会計補正予算
- ▼30年度下郷町農業集落排水事業特別会計補正予算

一般会計補正予算の主な質疑

▼小中学校エアコン設置

問 今回、エアコン設置の予算が補正計上されているが、各学校の台数は。

答 設置台数は、檜原小13台、旭田小10台、江川小9台、下郷中14台の予定となる。

問 エアコンは、冷房だけなのか、暖房も使用できるものか。

答 冷房と暖房を兼ね備えている。

問 設計は、いつ頃になるのか。また取り付け工事は、いつ頃完了するのか。

答 予算成立後、すぐに設計を発注したい。工事は、設計ができ次第、3月下旬から4月を目途に発注し、6月下旬から夏休みまでに設置したい。

問 運用経費（ランニングコスト）が、今後膨大

となると予想される。修繕・電気料等の予算確保をどう図っていくか。

答 地方交付税措置も念頭にいれていく。また、電気料金の自由化から安価な電力会社の選択も視野にいれていく。

問 起債7020万円の償還方法などは。

答 今回の事業は、補助残100%が起債で、その元利償還金の6割は交付税措置される。

▼ラウベ使用料（クラインガルテン）

問 ラウベ使用料が370万円減額されているが、30棟のうち現在、何棟空いているのか。

答 4月（17棟）から、8月に新規（1棟）に入って、18棟となっている。現在12棟が空いている状況である。

▼生活飲料水確保対策事業補助金

問 補助金150万円が補正計上されているが、この事業内容を具体的に伺う。また、どこの地区で実施されるのか。

答 渇水対策として、今回初めて実施する事業となる。

内容としては、未給水地域において、個人又は共同利用に供する飲料水を確保することを目的とした飲料井戸等を設置し、良質で安定した飲料水を確保するための整備に必要な経費の補助となる。

具体的には、①ボーリング工事費（掘削費及び足場仮設費）②浄水施設設置費（滅菌器等の整備など）③給水管工事費となる。そのほか、それに伴う電気配線工事費、水質検査費まで補助対象経費として見込んでいる。今回、志源行地区で実施される。

町からの説明

町行政組織の改編

町行政組織は、平成26年に「班制」から「課制」に全面的な改編を行い、平成28年には「係」の一部改編を経て、現在に至っている。

しかし、現下の社会情勢は大きく変化し、少子高齢化・人口減少社会への対応や、会津縦貫南道路をはじめ、本町における基幹路線の整備促進とあわせ、将来を見据えた「まちづくり」の推進など、新たな行政需要や課題に的確に対応していかなければならない。

そのため、昨年から町長を本部長に、副町長、教育長、各課長等からなる「行政改革推進本部」において、「現在の人数」を念頭に置き、「効率的、機能的」な体制を目指し検討を重ね、今回「課の改編」を行うこととなった。

提案した条例の一部改正は、「課の改編」となり、「係の改編」は、承認後に規約の一部改正によって行いたい。

全員協議会

～ 条例案の事前説明 ～

12月7日の全員協議会で、町から「下郷町課設置条例の一部改正」の説明を受けた。

新たに「総合政策課」の設置を提案

現在の「総務課総合政策係」を「総合政策課」とし、喫緊の課題に対応するため、企画部門の充実・強化を図りたい。さらに、「産業課商工観光係」を「総合政策課」に移管することで、企画部門と観光部門の連携を図りたい。

また、商工観光係が総合政策課に移管されるので「産業課」を基幹産業である農林業に特化した「農林課」に改め、農林業の振興を図っていききたい。との説明であった。

課・係の改編概要(案)

現在(30年度まで)

総務課	総務係
	総合政策係
	財政管財係
産業課	農政係
	農林係
	商工観光係
健康福祉課	福祉係
	健康係

改正案(31年度から)

総務課	総務係
	財政係
	管財係
▲現財政管財係を財政係と管財係に分ける	
総合政策課	企画政策係
	商工観光係
▲新設される課	
農林課	農政係
	農林係
▲現産業課から農林課に改める。	
健康福祉課	福祉係
	介護保険係
	健康係
▲現福祉係を介護事業量の増により介護保険係を設置	

主な質疑

問

改正案は、行政サイドの理想で町民目線ではない。他議員も言ったように人口が減っている中、役場組織を大きくするのは、全く逆行している。知恵を絞って、課を増やさないで係で対応できなかつたのか。また、十分町民に納得したただけるのか。

答

この行政改革の検討にあたり「行革」職員増にはならないように」という考え方のもと検討を重ねてきた。今の喫緊の課題に対応するため、企画部門（総合政策係）の充実・強化を図るために、今回「係」から「課」に改め、基幹産業の1つでもある観光とさらなる連携を図っていくことを目的に、「商工観光係」を総合政策課に配置した経過がある。

また、町民の皆様には、経費を極力抑え、町広報紙等を通じて、混乱を招かないよう周知徹底を図っていく。

4月から

総合政策課を新設
産業課を農林課に

下郷町課設置条例の 一部改正

12月14日の本定例会において、賛成8、反対2、欠席1で可決しました。

次年度の4月1日から施行されます。

討論

▼反対討論

総務課内に政策部門を置くべき。総合政策課を新たに設けるより、現状のままで、産業課商工観光係の人員を手厚くしたほうがいいのではないか。

▼賛成討論

総務課内では、財政部門もあり、予算編成を何とか間に合わせるといふ実情の中、果たして総務課で大きいビジョンが立てられるのかということがある。

ぜひ、この課を設置して、職員一丸となり進めていただきたい。

一般質問

7 議員が

町政を問う

12月定例会では、7人の議員が15件の一般質問を12月12日に行い、活発な議論を展開しました。6ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。

玉川 邦夫（6ページ）

- 自主財源の確保と地方交付税にかかる図書の実施
- 「栗林遺跡」を後世に伝えるための保存と活用は
- 消費増税軽減対策の準備に向けて

星 輝夫（10ページ）

- 障がい者雇用について
- 町内の地籍調査事業について
- 防災無線の利用について

湯田 純朗（7ページ）

- 道の駅「しもごう」の横領、着服疑惑について
- 町営住宅（姫川住宅）の住宅使用料について

猪股 謙喜（11ページ）

- 普通会計における積立金取りくずし額について
- 簡易水道の水不足と水道料金について

山名田久美子（8ページ）

- 観音沼森林公園の整備について
- ポイントカードの取り組みについて

湯田 健二（12ページ）

- 高規格道路の着手に伴う町の活性化対策は
- 異常気象による飲雑用水の確保は

小椋 淑孝（9ページ）

- 小学校統合について



“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることです。



玉川 邦夫 議員
kunio tamakawa

質問

読書活動の充実に交付税をどう生かす

答弁

学校司書配置の予算化を検討

問

学校図書館法が改正され、学校司書の法制化と読書活動の充実のために、国は地方交付税措置をしている。町はどんな取り組みをしてきたか。

答

継続的な図書購入を図ってきた。今後、魅力ある学校図書運営を目指し学校と連携を図っていく。学校司書配置のメリットは大きいので、複数校勤務や短時間勤務等で配置の予算措置を検討していく。

問

本町の自主財源は4割、6割は補助金・借入等に依存。地方分権社会では、行政運営を行なう財政力が本町の課題。そこで、多額の滞納金の収納率アップ対策を問う。

答

収納率アップを図るために数値目標をかかげ、滞納者には督促状や電話催告、夜間の臨戸徴収、預金調査、差押え等で収納を働きかけていく。



質問

貴重な文化財の保存・活用は

答弁

審議会の協力を得ながら検討

問

この遺跡は貴重な観光資源になり得ると思うが、町には「歴史民俗資料館」のような施設がない。これらの文化財をどのように保存・活用していこうと考えているのか。

答

文化財保護審議会の協力を得ながら検討していきたい。

問

中妻地区では四千年前に遡る縄文時代の遺跡発掘作業が進められ、次々と貴重な土器が出土している。町は、この遺跡を「記念物」の指定に向けて、文化財保護

答

審議会に諮問されたのか。当初は中世時代の貴重な「中妻館跡」が縦貫道路候補に入っていた。審議会の路線変更申請によって現在の路線になった。

なお、現在の発掘調査は記録保存のためである。将来的には、館跡遺跡を保存・活用していきたい。

質問

消費税増税に向けての町の対応は

答弁

教育・福祉面に配慮した施策に

問

政府は消費税増税に伴いマイナンバーカードに貯められる自治体ポイントプレミアム商品券にも活用するという。マイナンバーカードとしてもごろうカードの使い分けて混乱が生じることはないのか。

答

県でも具体的動きをつかめていない。今後の動向を見ながら対応していく。共に成り立ちの違うカードであるという認識の上、混乱しないよう商工会と一緒に対応

問

政府では「低所得者と子育て世帯を中心に商品券を発行する」としている。本町でももっと教育・福祉に配慮したプレミアム商品券の発行を検討していただけないか。

答

入学祝金、保育料の軽減、奨学金制度等、教育・福祉に関する様々な負担軽減事業を行っている。プレミアム商品券についても動向を見ながら検討したい。

質問

道の駅「しもごう」の横領 着服疑惑
しつかりとした対応と報告を求める

答弁

厳正に調査をし
しつかりと対応し公表をしていく

問

12月10日に「財界ふくしま」1月号が発売され、その中に道の駅「しもごう」で700万円の横領、着服疑惑が発生という記事が掲載されていた。中身を見ると、

今年度、駅長の交代があり、着服、横領の事実が明らかに なったと書いてある。そこで町長であるあなたが、下郷町地域振興株式会社の代表取締役、道の駅の社長であるので、何点か伺う。まず、私的に会社のクレジットカードで服や一

眼レフカメラの購入、これはどこから購入したのか。さらには二重計上のガソリン代の申請、一部旅費の精算金の二重の受け取りなど掲載されている。

甲子トンネルが、20年9月に開通し、道の駅は21年に開所した。近年の売上が1億9000万円に上るが、この売上は決して黒字ではないと私は思うが、実質的には赤字であると思う。その道の駅で、このような事件が発生したこ

とは、誠に遺憾である。この着服疑惑は、町内はもとより、近隣町村にまで噂が広がっている。また、インターネット等にも書き込みがされている。その実態はどのようなものか答弁をお願いする。

答

このたびは、道の駅しごうに関する横領など報道がなされ、またインターネットにも書き込みがなされているということは誠に遺憾であり、町民の皆様をはじめ、関係各位の皆様にご心配をおかけしていますことに対し、下郷町地域振興株式会社

の社長として、心よりおわびを申し上げます。

このたびの報道機関等への情報を受け、過日12月4日に下郷ふれあいセンターにおいて臨時株主総会を開催し、対応を協議した。協議内容は、外部の会社案件であり、現時点では企業の法令遵守または情報の守秘義務やプライバシーに係る問題であるので、詳細は差し控えていただく。対応策として、まず地域振興

株式会社として、今後調査機関を設置し、厳正に調査をし、弁護士とも相談しながら対応していきたい。

問

町長が、今お答えしたということがあったと私は理解しているのかなど。今後、この経過がわかったなら、やはり議会でも町民の皆さんに報告していただきたい。なお、結果を待たないとわからないが、就業規程や規則があるので、

答

外部の方を招いて、しつかりと調査をし、処分するかしないかは調査結果を待って対応していきたい。社員が服務規程に違反した場合、懲戒処分することは当然のこと、しつかりと対応し、調査をした結果は公表してやっていく。

質問

新住宅使用料の滞納対策は

答弁

今後も納付状況により退去命令を出す

問

古い姫川団地が取り壊され、既に新しい住宅が3棟完成し、現在新たに1棟が完成する。そこで伺うが、古い住宅時代の住宅使用料の滞納状況は。また、今後心配されるのは、新しい住宅使用料の滞納だが、その対策は。

答

古い団地から新しい団地へ移転したのは6世帯で、滞納世帯は2世帯であ

る。滞納額は約333万円、うち古い住宅の滞納額が約321万円である。また、新しい住宅使用料は、12月現在で、約12万の遅延がある。未納とならぬよう年度内納付に努める。

滞納対策として、30年に退去命令を出しており、今後も納付状況により、退去命令を出していく。



湯田 純朗 議員

sumio yuda



山名田 久美子 議員

kumiko yamanada

質問

観音沼森林公園の整備は

答弁

警備はシーズンという期限で
実施を検討

問 今年10月紅葉のピークを迎えた観音沼、色鮮やかに緑と紅色で見事なコントラスト。そのような中、10月28日に開催された「松川街道ウォーク」では、参加者の車や大型観光バスも入り駐車場は満車状態。駐車場に入れない車は、片側を占領しすれ違いに支障をきたす状況。このような状況は、紅葉の時期に集中する。この時期だけでも警備体制をとることはできないものか。また通行に支

障をきたす状況がある以上、道路拡張など施策は必要かと思う。町の考えを伺う。また観音沼森林公園の入込数が未だ行われていない。どのような障害があり実施できないのか伺う。

答 平成22年度に駐車場とトイレの整備を行った。管理人を配置し、車の台数をもとに集計を行った。平成23年の震災後、管理人を常駐させても費用対効果が上がらず、平成24年度から無料化

した。無人による入込数調査方法等検討したが、費用等の問題から設置に至っていない。今後も無料で行く考えであるが、観光資源の一つであるので、警備についてはシーズンという期限をもって実施することは検討する。



四季折々の美しい景観が楽しめる観音沼森林公園

質問

しもごろーカードの
行政での取り組み拡大は

答弁

田沼文蔵記念館の
来館ポイントを考えている

問 1周年を迎えた「しもごろーカード」は、登録者数5050名となっている。今年度は、プレミアム商品券事業が「しもごろーカード」を利用した電子マネーでの取り組みになり、利用者にとっては1円単位で利用できることや、商店にとってはプレミアム商品券の取り扱いがなく、事務手続きが簡素化されるなど、画期的な取り組みになっている。今後の取り組みとして、来店ポイントを「田沼文蔵記念館」で、できないものか。

教育委員会では、「家読推進事業」を薦めているが、本を読むことは集中力や読解力が

身につく、学力も向上する。また家読することで家族間のコミュニケーションにも繋がるとも言われている。ただ、本を購入するとなると大変だが、「田沼文蔵記念館」の利用で経費を抑えることができる。来店ポイントを付与し、本を読むことの推進に繋がるのでないかと考えるが、町の考えを伺う。

答 田沼文蔵記念館の利用促進と図書の積極的な利活用のため、商工会と相談し来館ポイントを考えている。本の貸し出し時の行政ポイントについては、有効な手段と考えるので今後検討していく考えである。

質問

小学校統合に伴う

実態調査が必要では

答弁

総合教育会議で協議していく

問

今年の夏は全国的に猛暑が続く、本町においても大変な日々が続いた。今回の補正予算で各小中学校にエアコン設置費が計上され、子供たちの勉強する環境が改善される、これは大変喜ばしい事である。今年第2回定例会で質問した、小学校統合に関する質問で教育長から答弁

いただいた中で、より良い学習できる環境を、地域、学校、保護者等を含め、具体的にどのような問題があるか、慎重に検討していくと答弁がありました。ある親御さんが、小学校の保護者でなければ意見と述べる場がないのではないかと言われた。子供の将来を考える親にとってみれば当



小 原 淑 孝 議員

hidetaka ogura

然のことである。考え方も一人一人違うことは当然ですし、少子化に対して避けてはとれない問題である。

今すぐ小学校を統合するという事でないにしろ、何かしらの行動を早めにするべきではないか、子を持つ親御さんの方から意見を述べていただき、早め早めの対応が必要ではないかと思うが、今後どうしていくのか教育長のお考えを伺う。

答
教育長

将来に向けた下郷の子供たちがより良い環境で学習できるかを、地域、学校、保護者等を含め、教育環境の在り方について慎重に検討していきたいと思っている。現在において総合教育会議の中で、少子化に対応した学校教育の充実策として、町長及び教育委員の皆さんとで協議を進めているので、ご理解をいただきたい。また、子を持つ親御さんの方々にご意見を述べていただき、早め早めの対応が必要ではないかとの質問ですが、今後総合教育会議

問

での協議が進む中で、児童の保護者と入学前のご父兄など幅広く、アンケート等も含め、何らかの形でご意見をいただく機会を設けさせていただきたいと思っている。

総合教育会議で、少子化に対して話をするのはごもっともなことだと思う。



旭田小1年生の授業のようす

答
教育長

実際に小学校の子供たちが、減少している中、今はまだ小さいお子さんを持つ親御さんの方々は、意見を述べる場がないので、早めに対応していかなければならない。町内のご家庭にお子さんがいる、アンケートなりの実態調査をやらなければいけないのではないか。今後、細かい取り組みをやっていくかなければいけないと思うが、考えを伺う。

総合教育会議も2回目の会議ということで、具体的にいろんな形で段階的に進んでくると思う。こういった保護者の意見調査は、必要になってくるかと思うので、その時期については教育委員会の会議、総合教育会議の中で、協議しながら進めていきたい。

保護者との話し合いもというの、役員等々の話し合いというのは何件かあるので、いろんな課題等を話していきたいと思う。



星 輝夫 議員
teruo hoshi

質問

本庁舎の障がい者雇用の実績は

答弁

現在障がい者の雇用はいない

問

障害者雇用促進法において、30年4月から障がい者の法定雇用率が引き上げられた。企業に対し雇用する労働者の2・2％に相当する障がい者の雇用が義務づけられている。また国・地方公共団体等は2・5％になり、障がい者の雇用の促進と継続を図るための障害者雇用推進者を選任するよう努めなければならぬ。そこで伺うが、町内で45・5人以上50人未満

答

現在、町内企業において45・5人以上50人未満の社員を有する企業は1社である。障がい者雇用の実績は、現在町での障がい者雇用はない。また、国では30年4月から障がい者雇用の促進等を図るため障害者雇用推進者を選任しているが、地方公共団体は除かれており、町では選任していない。現在、第5次振興計画により各種施策を進めており、障がい者の社会的自立機会の充実などを掲げて、障がい者福祉の充実を図っている。ご理解いただきたい。

質問

防災行政無線で地区のイベントを周知しては

答弁

公共性が高いと判断できるものは検討する

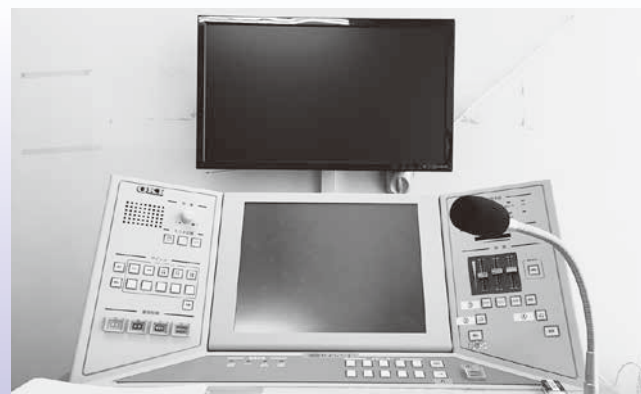
問

地区のイベントや議会の開催日などの案内に防災行政無線を活用してはどうか。町政への参加、地域活動への参加につながると思うが。

答

防災行政無線では、火災や台風などの緊急放送、平時にはイベントや各種

行事などの周知に使用している。運用は、災害時を除いて各自治体の基準によって行っている。ご提案の地区のイベント周知は、町が共催や後援するなど、公共性が高いと判断できるものは検討していく。また、町議会日程などは議会の判断によるものと考えている。



役場防災無線室にて放送

質問

地籍調査事業の進捗は

答弁

全39地区中21地区が完了18地区が未完了

問

地籍調査事業は全体の何割の地区が完了し、未実施地区はどこか。

答

全39地区中21地区が完了（榑原5地区、旭田全15地区、江川1地区）、未完了は18地区となり、全体の54％が終了となる。未完了地区

は、榑原8地区（倉村、榑原、刈林、姫川、成岡、板萩、小池、倉水）、江川10地区（田代と芦ノ原の一部、枝松、大沢、湯野上、白岩、雑根、小出、沼尾、大内）となる。現在、進めている芦ノ原と枝松地区完了後、順次進めていく。



猪股 謙喜 議員

kenki inomata

質問

積立金の取り崩し その基準は

答弁

明確な基準は設けてはいない

問

積立金の取り崩しについて、どう考えているのか。

答

安易に起債に頼ることなく、最大限に基金を活用することも有効な手段であると考えている。

問

積立金の取り崩しに対する基準は。

答

その年度の予算規模等により増減するものであり、明確な基準を設けていない。

ない。

29年度は、姫川住宅の建設で、起債せず補助金と自主財源で賄ったことが大きい。

問

財政調整基金に対する町長の考え方は。

答

臨時的財政需要への対応や固定資産税の大幅な減少を考慮し、有事の際の備えとして、一定の残高確保は必要であり、残高の確保に努めたい。

財政調整基金とは

自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。

▼決算による

年 度	積立金取り崩し	財政調整基金残高
26年度	1億円	18億2千4百万円
27年度	1億5千万円	17億7千6百万円
28年度	1億2千4百万円	18億2千3百万円
29年度	4億2千万円	15億8千6百万円

質問

簡易水道の今後の漏水対策は

答弁

施設の拡充 漏水確認調査等の検討が必要

問

倉水地区で、2年連続の水不足となった。町の速やかな対応により、何とか使用ができた。2年続きの水不足に対して、町の対応は。

答

統合簡水において供給体制の見直し、必要な機材の確保、施設の拡充、新たな水源の調査、漏水確認調査等を検討していくことが必要と思う。

問

簡易水道において、過疎化に伴い、収入が減ることが予想される。

また、施設の更新等も必要となる。収支のバランスを図るため、料金の見直しが必要となるのではないか。

答

給水人口の減少により、水道使用料が毎年減少している。各簡易水道において、水道本管老朽化による入れかえや、機器類の更新が必要



漏水工事のようす

要と思われる。

また、消費税増税、水道法の一部改正など、水道事業を取り巻く環境は変わりつつある。料金の見直しは、今後十分検討していく。



湯田 健二 議員

kenji yuda

会津縦貫南道路の開通にあわせ

町づくりをする必要がある

質問

答弁

全庁挙げて計画づくりをし
町民の方々と町づくりをする

問

会津縦貫道の整備効果は、災害時の救助活動の確保、救急医療サービスの拡大、観光の促進、物流の活性化、広域的交流の促進等が期待されている。しかし、南道路の完成をただ見ているだけでは、開通後通過点となり、今のままではデメリットが多い。

今こそ開通にあわせ町ビジョンを早期に立ち上げ、実行する必要がある。そのためにも機構改革等も含め、町長を

先頭に全庁一丸となり押し進めなければならない。心配されることは、本バイパスと平行に走る県道高陸田島線、水門、湯野上区間は一部を除き未改良で、落合地区も同様。田代ICからの大内宿へのアクセス、二川橋は大型車の相互交通はできるのか。大内入口の拡張改良や宿内の駐車場、トイレ等の改修は。湯野上地域の整備は。そして一番住民生活に直結する商店街の活性化はどう図られるのか等々、こ

答

これらの現状を踏まえ、早急に対応しなければならないと思うが、町長の答弁を求める。

現在建設中の会津縦貫道はご指摘のとおり、

町の活性化が失われる懸念がある。その対策のひとつに「高規格道路と直結した町内道路網」や「主要観光地の整備」を重要課題に位置づけ、早急に対策を講じなければならない。この状況を踏まえ、湯野上地域は基本整備計画を策定し、湯野上温泉駅前周辺整備に取り組んでいる。また大内宿も第4第5駐車場の舗装化やトイレの新設、自動ゲート化の検討、宿場入口を横断している電柱の移設等、地域住民と合意形成を図り、問題解決に向け引き続き取り組む。商店街の活性化も商工会と連携し取り組んでいく。

次期計画では、会津縦貫南道路の開通を考慮した町ビジョンは必要である。機構改革も踏まえ、全庁を挙げて計画づくりをし、町民の方々と町づくりを推し進めていく。

質問

飲料水施設等における今後の対策は

答弁

給水体制の見直しにあわせ
必要な資機材確保と施設の拡充を検討

問

本町でも水不足が生じ、特に倉栖地区、戸石川沿いへの用水等の確保に苦慮したが、その対応は。

また町簡易水道、各集落管理の給水施設に支障はなかったのか。あったとすれば今後の対策を伺う。

答

倉栖地区は、取水箇所を設置し対応した。戸石川沿いは志源行、倉水、板倉の取水口で河川の水位低下による取水不足が生じ、重機を借り上げ、土砂撤去等を実施した。また、飲料水施設等の支障と今後の対応として、志源行地区は、取水井戸の水量が減少、飲料水確保が困難な状況となる。

また、各集落管理の給水施設も老朽化による施設の修繕が必要な状況となってきた。この対策として、今回新たな飲料水確保の事業補助金を

問

現在進めている芦ノ原地区の給水施設は、本年度測量・設計、来年度は認可・着手できるのか。

答

県事業として、本年度測量と実施設計を実施。施設整備に係る許可関係も踏まえ、今年度中に完了する見込み。

工事は、来年度以降の県の予算額の範囲内で、工事が着手が予定されることから、早期に着手できるよう、県と協議を進めていく。

町と町議会による中央要望

10月26日
国会議員会館へ要望

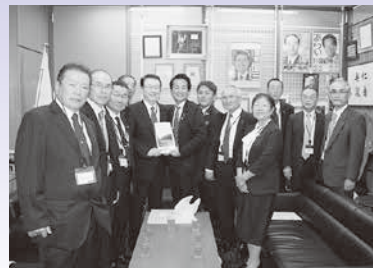
下郷町の重要課題である地域高規格道路「会津縦貫南道路」の整備促進など、福島県選出国会議員をはじめ16名の衆参議院議員に要望活動を実施しました。

町と議会は、これまでも継続して町単独の中央要望を実施しておりました。

今、その要望活動が着実に現実となって、今後のまちづくりに大きな役割を果たすものと思われます。



菅家一郎衆議院議員
(環境大臣政務官)
(内閣府大臣政務官)



小熊慎司衆議院議員



増子輝彦参議院議員



室井邦彦参議院議員

在京下郷会と下郷町の飛躍を誓う



大黒舞が行われるなど約120名が参加

10月27日
在京下郷の集い
ホテルラングウット

在京下郷会員と下郷町民が一堂に会する、在京下郷の集いが開かれました。

在京の集いにあわせて、同級会を開催するなど、旧友との再会や思い出の話を語り合い、故郷に思いを馳せた話題は尽きることはありませんでした。

在京下郷会では、若い方の会員を募集しております。

10月23日
郡山ユラックス熱海

福島県町村議会議員 研修会に参加

県内の町村議会議員が一堂に会する研修会で、東京大学大学院法学政治学研究科教授の金井利之氏と日本大学法学部教授の岩井奉信氏を講師に招き、「地方議会のあり方・活性化」や、「今後の政局・政治展望」について講演が行われました。

事務調査報告



総務文教常任委員会 11月14日(水)実施

▲電子黒板を活用した檜原小学校の授業のようす

【電子黒板の活用事例】

- ▶算数・数学は、図形の描写・回転・重ね合わせなど
- ▶国語は、書写指導（筆書き）など
- ▶英語は、発音、英会話の聴き取り など
- ▶音楽は、譜面・音符の学習 など
- ▶理科は、実験動画の上映 など

旭田小学校の学校訪問 及び電子黒板の購入

◆旭田小学校の授業参観
1年生から6年生までの授業を参観した。

◆電子黒板の購入

今年度、小学校3校に1台ずつ導入し、中学校には3台導入した。

▶1台当り 504千円
6台合計 3024千円

檜原小学校の学校訪問 及び教室床改修工事

◆教室床改修工事

授業参観終了後、普通教室床改修工事の概略説明を受けた。

▶面積 5年教室 56㎡
6年教室 56㎡

▶請負額 216万円

▶仕上げ材

発泡複層ビニール床シート

電源開発(株)

下郷発電所



地下60mの発電タービンなどを見学

その他の調査箇所

◆会津縦貫南道路

(湯野上バイパス)

◆公営住宅建設工事

(姫川団地1-1号棟)

意見・提言等

◆特別支援学級では、支援員の適切な学習支援が行われていた。ぜひ今後も、町雇用の支援配置を継続したい。

◆電子黒板の活用により、各教科指導のレベルアップに繋げて欲しい。また、日常的に活用できるよう台数を増やしていきたい。

◆電源開発(株)には、今後も観光の見学施設としてご協力いただきたい。

◆湯野上バイパスの白岩地区の道路狭隘部分は、地域生活者の車の優先として、狭隘部分の改良等の対策が必要となるので、今後国・県に要望する必要がある。

常任委員会所管



産業厚生常任委員会 11月16日(金)実施

▲ポイントカード事業の説明をうけるようす

商工会ポイントカード事業 プレミアム商品券事業

◆ポイントカード事業

下郷町商工振興事業補助金

(県サポート事業補助金)

事業費 7568千円

町補助金 3128千円

町と商工会が連携して30年

度より実施している「IC型

ポイントカードシステム」の

説明を受けた。また、この事

業が先進的な事業として、長

野県、静岡県、愛知県等から

視察研修に来訪している。

◆下郷町スーパープレミアム 商品券事業

事業費

6600万円

町補助金 1100万円

町内経済の活性化を目的と

して、平成25年度より実施し

ている「下郷町スーパープレ

ミアム商品券事業」の説明を

受けた。

平成30年度からは「しもご

ろーカードの電子マネー」機

能を活用し、商品券の発行を

行った。

会津縦貫南道路(湯野上 バイパス)3号橋梁

国道121号湯野上バイパ

ス8300m(国直轄権限代

行事業)は、現在白岩地内の

3号橋梁工事を施工中だが、

今後、2号トンネル(257

5m)は会津若松市側に向か

って掘削、3号トンネル(1

577・5m)は日光市側に

向かって同時に掘削していく。

湯野上バイパスの全体事業費

は240億円で、開通時期は

平成30年代後半に計画されて

いる。



湯野上バイパス3号橋梁下部工を見学

その他の調査箇所

◇耐震性貯水槽設置工事

◇林道大峠線復旧工事

◇橋梁補修工事(音金橋)

◇公営住宅建設工事

(姫川団地1-1号棟)

◇橋梁補修工事(藤見橋)

◇湯野上保育所運営状況

◇空調設備改修工事

(老人福祉センター)

意見・提言等

◆住宅使用料の納入意識アッ
プに努め、滞納とならない
よう公平性確保に努めてい
ただきたい。

◆プレミアム商品券を取り扱
う店舗数は減っている。今
までは、販売店が商工会で
換金するのには1%の手数
料だったが、しもごろーカ
ードになって2%となった。
お客様に1%のポイント、
換金に対し2%の手数料が
取られる。この辺は、町と
して商工会と協議してほし
い。

議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

議場で上手に自己紹介

11月28日、旭田小学校2学年児童が役場庁舎見学で議場を訪れました。

児童たちは、議長席や議員席、町執行部席にすわり、マイクを使って上手に自己紹介をしました。

まだ、議会では導入されていない電子投票システムも体験し、「下郷町は好きですか」という議案に対しては、賛成多数の票が得られました。

満場一致で下郷町を好きになってもらえるよう議会も頑張ります。



旭田小学校2年生18名が議場見学

「国会のはたらき」を学ぶため 町議会を傍聴



旭田小学校6年生17名が傍聴

旭田小学校の6学年児童は、「国会のはたらき」を学習するため、12月12日に行われた第4回定例会（一般質問）を傍聴しました。

議会の厳粛な雰囲気につれ、児童たちはやや緊張したようでしたが、読書活動の充実や栗林遺跡などの身近な話題にはうなずきながらも議論に耳を傾けていました。

後日、児童が学習のまとめに書いた傍聴カードが届きました。各議員に回覧いたします。

議会からのお願い

議会だより取材のため、議会議員（広報常任委員）が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

議会を傍聴しませんか

次回の町議会定例会は3月上旬になります。

お問い合わせは町議会事務局（69-1123）まで

議会広報常任委員会

委員長	山名田	久美子
副委員長	玉川	邦夫
委員	猪股	謙喜
委員	小椋	淑孝

▼例年にないくらい、雪が降らないですね。過ごしやすい年ですが、昔から比べると降雪量も、年々減少していますよね。こんなにも雪が降らないと、いつもより早く水不足になるのではないのかと、心配になります。寒い日が続くのも嫌ですが、その時期に降るものは降らないと、一年が成り立たない感じです。

▼2月16日に「なかやま雪月火」が開催されます。ろうそく点火は参加型となっておりますので、是非ご参加下さい。（小椋 淑孝）

編集後記